



うさぎ年の始まりです！今年もよろしくお祈りします。

未だにコロナウイルス感染症が収束する気配の無い状況の中で、令和4年度3学期がスタートしました。

始業式にみんなに伝えたことは、「3学期52日の間に『これ』は身に付けよう」と決めて、「これ」を身に付ける努力をしよう！というものでした。自分自身が大切にしたいと思う事を、人から言われるのではなく日々自分で意識して身に付けることは、今後の人生においても、とても有効な経験になると考えています。そして、【自分から行う早寝・早起き・朝ごはん・挨拶・丁寧な言葉遣い・宿題…】等、今、身に付けたいと思うものを自分で決めて、52日間努めればほぼ定着するとも考えています。

始業式では「縄跳びの2重跳び」を例に話しましたが、まずは1回、次に2回連続。そして3回連続。1回1回が大きなハードル(壁)です。しかし、2重跳びは3回連続で跳べればコツをつかむことができやすくなり、その後は5回10回と飛躍的に上達します。

何かを身に付けようとする時には、『チャレンジ』の繰り返しと失敗してもくじけない『我慢』が成長へと導きます。その意味で「先ずは、“三日坊主”を目指そう！」と話しました。【1つの事を、3回続けてできる⇔3日続けてできる】…“三日坊主”[飽きやすく何をしても継続しないこと(広辞苑より)]は、続かない者の例えとして“三”を用いた言葉ですが、逆に本気で習得や克服等を目指す際や教える際に、大切なキーワードではないでしょうか。

子どもたちが、取組中の過程も含めて、どんなことを考え、身に付けるか楽しみです。

ご家庭では、どんな心を育てていますか？

右の【家庭の力は心のエネルギー】は、子どもたちが使用している“道徳教育ハンドブック「家庭で取り組む 高知の道徳」」に掲載されているものの一部です。このハンドブックでは、家庭の皆様が次のようなメッセージを発信しています。

家庭は子どもの育つ基盤であり、豊かな心や人間性を育むうえで重要な役割を担っています。自分が人から大切にされ、価値ある存在であるという実感は、家族の温かい言葉から生まれます。そこから、自己肯定感や自信、そして「他の人ともよりよく生きていこう」、「世の中に役立つ人間になろう」とする姿勢も生まれてきます。

一方で、間違っただけの行為に対しては、毅然とした態度で叱ることも必要です。大人が真剣に善悪の判断を示すことは、子どものよりよい成長を願う行為であり、子どもの人格を大切にすることにほかなりません。

月に一度は子どもと向き合い、夢や希望、悩みなどを語り合ってみましょう。本冊子を台所や居間など、すぐ手に取れるところに置いておき、語り合う時のきっかけとしてお役立てください。

もちろん、右の7つ以外の取組でもいいと思います。ちなみに我が家では、息子や娘が小学校低学年頃までは「一日1回は大笑いする」取組をしていました。家の内外で嫌な事があっても、一日のどこかで父としての私と一緒に笑顔になれる場面を創ることで“幸”“福”な一瞬を共有でき、次の日のパワーになると考えたからです。親子でお腹の底から笑い合うシーンは、今思い出しても、笑顔になれる思い出です。

また、右の7つは、学校・学級でも育てています。

ぜひご家庭でも、先ずは一つ決める事から、そして“三日坊主”の意味のように途中で止めることなく、チャレンジを続けて三日連続あるいは3回連続で誰かに「言われなくても自己決定して行動できる」⇒“三日坊主”のクリアを目指して取り組んでみてください。

卒業までのカウントダウンが始まりました

よく遊びよく学ぶ6年生、いつもみんなの良いお手本です。卒業までの日々を、真剣に考え合う授業でも遊びでも、仲良く、素敵な笑顔で過ごしています。



2月、3月の主な行事

- 2月 1日(水) 薬物乱用防止教室(5、6年)(予定)
- 6日(月) 午後放課 [大正中授業研究会参加のため]
※給食がありません。(12:20下校、12:25Sバス発車)
- 9日(木) 十川小一日体験入学、保護者説明会
(10:35~12:15頃)
- 17日(金) 参観日 [午後:参観授業 学級懇談]
(日程等詳細は、後日お知らせします)
- 21日(火) クラブ最終日
- 27日(月) 6年生を送る会(予定)
- 3月24日(金) 卒業式、修了式

できるだけ早目の連絡に心がけます！

昨年末の大雪に続いて、24日からの寒波。地理的に寒波の影響を受けやすい地域にお住いの皆様、スクールバス運転手の皆様には、登下校の際に多大な労をおかけしております。

本年度もこれまでに、自然災害や感染症による臨時休校・学年閉鎖等を数回行いましたが、今後も休校等の可能性があると考えております。学校としましては、できるだけ休みにする事なく本年度197日の学校教育活動を行いたいと考えています。…が、安全第一です。25日の場合は、朝の天候・降雪状況から一番の懸案は、登校中の交通事故に関連する事でした。そこで、夜明け前から地元の方に状況分析をお伺いし、十川中・昭和小・町教委と相談した結果、休校とはなりません。この決定後も各方面との連絡や現地確認等をしていたために、“すぐ”での連絡が大変遅くなる結果となり、誠に申し訳ありませんでした。

今後も何か疑問等が浮かんできましたら、ご遠慮なく電話や連絡帳にて校長や担任にご連絡ください。

家庭で行う7つの取り組み

1 毎日きちんとあいさつをしよう
「我が家のルール」
まずは、大人のあなたから「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」のひと言葉をかけましょう。

2 家族と会話をしよう
「我が家のルール」
子どもが小さいときの話を聞き止めるのも、毎朝からの会話です。まず、話を聞くことから始めましょう。

3 家族の一人として役割をもとう
「我が家のルール」
子どもにも継続して手伝いをさせることで、家族の一員としての自覚や責任、家族への感謝の心が育ちます。また、生活の知恵も会得していきます。

4 子どもにがまんを教えよう
「我が家のルール」
がまんするからこそ、得られたときのうれしさが実感できます。家庭での約束ごとを決めて、まず、親から守っていき姿勢が大切です。

5 体験の中で子どもをきたえよう
「我が家のルール」
表情筋が少なくなっているお子様こそ、豊かな体験を通じて動くことの楽しさや自然の豊かさ、美しさを肌で感じ取らせましょう。

6 先人や目上の人を敬う心を育てよう
「我が家のルール」
親が人に感謝し敬う心をもてば、その姿は子どもに伝わり、親への感謝を通して人を敬う心が育っていきます。

7 人に迷惑をかけたときはきちんと叱ろう
「我が家のルール」
「叱る」「罰をほす」は全く違います。「叱る」は「おやめなさい」「ごめんなさい」を促すことで、反省を促すことにつながります。

背中教える 大人の意識と行動！